



ニュース 17号

Information, Communications, and Attention-Related Empowerment Center for the Challenged
in Hokkaido 障害者のための情報と通信と人々の理解に関するエンパワーメントセンター北海道

スイッチ勉強会開催

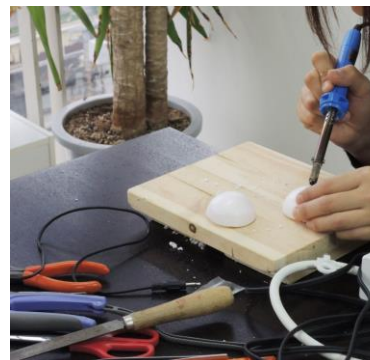
11月16日(土)事務所において「自作スイッチ勉強会」を行いました。参加者は8名。講師は支援ボランティアの石飛、助手は奥島。レッツチャットやHeartyLadderで使う「スイッチ」、市販の製品は、利用する方の「動く部位」にあう場合と合わない場合があります。より使いやすい道具を求めて、それなら「自作」してしまおうということに。それぞれが使う人の顔を思い浮かべて。

「スイッチの基礎知識」の解説からはじまり、実際のスイッチ自作へと進みました。

カッター、ハンダごてやニッパーを使い、各人各様の「手作りスイッチ」が完成していきました。ときには参加者が講師の役目を果たす場面も。

終了時刻を過ぎながらも、「キネクト+OAK」や「マイトピー(視線入力)」の実演もおこなわれ充実した勉強会になりました。

今後このような会をどうやって継続させていけるのか、模索中です。



2013年12月

iPad研修会

11月29日と30日にNPO法人支援機器普及促進協会の高松崇さんを京都からお迎えして、iPad研修会を行いました。1日目は障害を持っている子どもたちのための楽しいアプリの紹介から始まりました。意図をもって導入しなければただの遊びになってしまう、これまでは健常者の能力に近づけることが教育の目的だったけれど、テクノロジーを使うことと周りの理解が広がることが大切、など特別支援学校などで子どもたちと日常的に接している高松さんの経験に裏打ちされた言葉を聞かせていただきました。



2日目は意思伝達支援機器導入の前のタブレットの使い方や選び方。スキャンさせたり、スイッチで入力するiPadの使い方を学びました。また、来年には実用化されるであろう開発中の機器の紹介もありました。

2つの助成金をいただいて



11月15日に2つの助成金の贈呈式がありました。

午前中には損保ジャパン記念財団からの車の贈呈式。車はすでに納車されて（四輪駆動の軽自動車）団体名を表すシールもつきました。

午後からは丸紅基金から視覚入力機器「マイトビー」の贈呈式。意思伝達装置がどのようなものか、基金の方に見ていただきました。

どちらもこれからの活動に大切に活用させていただきます。ありがとうございました。

活動報告会を行います

日時： 2014年3月2日（日）午後2時～

会場： 札幌市教育文化会館研修室 305 （中央区北1西13）

特別講演：川口有美子 氏（NPO法人ALS/MNDサポートセンターさくら会理事
「逝かない身体」著者）

伊藤史人 氏（一橋大学）

詳細は後程お知らせします。

特定非営利活動法人 iCare ほっかいどう

〒060-0061 札幌市中央区南1条西8丁目 SITY ビル 6F

T)011-222-4462

F)011-596-8794

jimu@icare-h.org

<http://icare-h.org/>